



令和7年度 学校法人尚絅学園事業計画書

I. はじめに

尚絅学園は、令和5年度から10年間の「第二期中長期計画」を策定し、学園の現状と課題、学園を取り巻く環境の変化や今後の方向性を踏まえた本学園の目指すべき姿（ビジョン）を掲げ、ビジョン達成のために新たなスタートを切りました。「第二期中長期計画」では、設置校の存続を前提に、学生・生徒の確保を最優先の課題として計画を策定しましたが、2年間の計画期間を終え、想定以上の社会環境の急激な変化により、大学・短大の学生数減少に歯止めがかけられない状況となっています。

この現状を踏まえ、令和7年2月に「尚絅大学短期大学部総合生活学科の令和8年度以降の募集停止」及び「尚絅大学現代文化学部の入学生定員削減と教育内容の抜本的な見直し」を決定しました。

令和7年度においては、従来の中長期計画に則り事業運営を行うことに加え、上述の大きな改革にしっかりと対応することが必要となっています。

II. 主な施策

1. 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生・生徒等が充実した学校生活を過ごすためには、経営力の強化による安定的かつ強固な財務基盤の構築、人材育成の強化、施設設備及び教育・研究環境の整備が必要不可欠で、その方向性を明確にする為、令和7年度中に「第二期中長期計画」を改定する必要があります。

○ガバナンス

経営の規律と誠実性を維持しつつ、「建学の精神」「教育理念」に則った教育を実現するための体制整備に努め、管理部門と教学部門の円滑な意思疎通と連携を図るとともに、相互チェックを適切に機能させます。また、人権・安全へ配慮した危機管理体制及びSDGsへの取り組みを強化します。

○財政

中長期計画に基づく適切な財務運営を確立し、安定した財務基盤のもと収支バランスの均衡に努めます。

○人事

各設置校の使命・目的に則し、財政状況を踏まえた適正な人員配置と、公正・公平で納得感のある人事評価の確立と適正な処遇の実現に努めます。また、適切な人事管理・労務管理体制を確立し、教職員の資質・能力の向上と職能開発を実施します。

○施設設備

外部環境の変化に対応した教育・研究環境の整備と適切な運営・管理を実現します。

○同窓会・後援会・地域との連携

同窓会、後援会および地域との連携強化に努め、各設置校の発展に寄与する活動を支援します。

2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

本学における喫緊かつ最大の課題は学生確保です。18歳人口の減少や学生ニーズの多様化等により全国的に共学・4大志向が見られる中、令和4年度以降、入学定員充足率が下がり、極めて深刻な事態となったために、昨年度の令和7年度学生募集は、これまで以上に広報に力を入れ、さらにオープンキャンパスの内容充実や入学奨学金制度の刷新を図るなどに尽力しましたが、生活科学部以外の学部学科は令和7年度入学予定者がさらに減少する見込みです。このような中で、長年にわたって定員未充足が続いていた総合生活学科の令和8年度以降の学生募集停止、同様に定員未充足が続いている現代文化学部の入学定員の削減を受け、今後その対応と学生募集の改善を図ります。本年度は次年度の学生募集の活動によって、これらの事態に打ち勝つことが必要です。全学部・学科で教育内容の魅力を高めるとともにこれまでの学生募集活動の分析・改善を図るとともに、高校生のみに限らず、小・中学生までを含めた長期的な視点を踏まえ、入学志願者の増加に向けた取組を実施し、学生数の確保を図ります。

2023年度に第二期中長期計画（2023年4月～2033年3月）がスタートしました。第一期中長期計画では、教育内容の改善としてカリキュラム編成の高度化や学生ニーズへの適切な対応、取得可能な免許・資格の見直し、教育方法の改善を行いました。特に、本学の強みである「食」や「子育て」分野に加え、観光文化における地域連携や貢献については計画的に取り組んでいます。また、今年度から日本高等教育評価機構の新たな第4期評価システムに基づいて作成した令和7年度（評価対象：令和6年度）自己点検評価書に示した課題や課題に対する改善状況と今後の取組み予定の事項を実施し、内部質保証委員会を中心に、全学部・学科、並びに大学全体の教育の質を保证するためのPDCAサイクルを実践します。

3. 尚絅中学・高等学校

令和6年度は、学校教育活動もほぼ通常の形に戻り、生徒たちは「建学の精神」と「教育理念」の下、志を高く掲げ、ひたむきな努力と挑戦を続けることで、様々な分野で結果を残すことができました。入学者数についても、中学生21人、高校生203人と、4年振りに20人・200人を超えました。この増加の背景には、学校ホームページの充実、学校案内パンフレットの改善及び近隣の小学校や県内の中学校及び学習塾の訪問回数を増やしたことが考えられます。

第二期中長期計画の3年目にあたる令和7年度は、各コースにおける学びの更なる魅力化と発展を図るため、大学等との連携による教育力の向上に取り組めます。また、教職員の指導力向上を図るため、外部講師等招いた研修や外部研修制度の積極的活用を行います。志願者数・入学者数増加のための広報戦略については、全職員と管理職のみで実施する学校訪問の差別化を図ります。なお、令和7年度のアクションプランに対する重点施策及び具体策は以下のとおりです。

(1)「教育の質向上」

デジタル採点支援システムを導入し、生徒の学習状況の可視化、テスト後の即時フィードバックによる学習効果の向上、蓄積されたデータによる指導方法の改善を行い、教育の質向上を実現します。

(2)「品性があり社会に貢献し得る生徒の育成」

予測困難な時代に生徒たちが主体的に生き抜く力を持てるよう、一人の人間として、また女性としての将来について自ら考えていくことを軸にした指針を作成します。

(3)「生徒支援の充実」

職員間の情報共有と組織的な生徒支援を行うとともに、スクールカウンセラーと連携した教育相談による生徒・保護者への支援の充実を図ります。

(4)「地域貢献の推進」

地域機関との連携を強化し、ボランティア活動や地域行事に参加する生徒を増やします。また、地域の自治会等と連携した環境美化に取り組みます。

(5)「個性豊かな生徒の獲得」

尚絅学園としての本校の魅力を大学と連携して見出し、その魅力を小・中学生や保護者に学校ホームページやSNS、その他の広告媒体を介して周知します。

4. 尚絅大学附属こども園

附属こども園では、「認定こども園教育・保育要領」等3法令の改訂等の趣旨を受け、教育・保育の目標達成をめざし「尚綱らしさ」を生かした改善・充実に努めるとともに、在園児保護者と地域保護者の支援に努めるという2つの目的の達成による社会貢献に努めています。

まず、教育・保育です。『全体的な計画（教育課程）』をもとに、「子どもの発育にふさわしい自然の風情をそのままに生かし、環境の構成（教育的な意図）を創造し、子どもの健やかな成長をめざす」ことを目標に、「尚綱らしさ」を「自然豊かな園庭で伸び伸びと遊ぶ園児」として、全教職員が質の高い、温かい愛情に満ちた教育・保育を推進します。今後は、協働してクリエイティブな実践を展開していくこと、また小学校への円滑な連携を図ることが課題です。広報誌やHP欄の充実、地域社会や自治体・市町教委、小・中学校、諸機関との連携、学校評価を生かした教育・保育の改善にも取り組みます。

次に、保護者支援です。日頃の教育・保育の充実やPTA（杉の子会）との協力と共に、在園児保護者にも地域保護者にとっても安心できる子育て支援を「子育て相談会」や「どんぐりルーム」等で推進しています。ここ数年、特別な支援を必要とする園児や援助・配慮を要する保護者の増加に伴い、園児の安全性の確保や発達特性に応じた教育・保育の対応力の向上、療育施設との連携、協力、保護者の相談事業等をはじめ、保育者数の確保や研修が急務となっていますが、保育者の常時確保が難しく決して安全な教育・保育が保障されているとは言えない状況も見られます。また、園児の命と安全を守るために、子育てに不安や困り感をおもひの保護者、DVや児童虐待事案等に対して、行政機関・小学校・療育施設・児童相談所・警察等との連携・協力による支援を実施しています。喫緊の課題は、収支均衡のための園児の確保です。周辺市町は熊本市のベッドタウンとして人口増加率が高く海外からの進出企業の影響もあり数年は少子化の影響は少ないと見られていましたが、昨年度の募集では3歳1号園児が定員まで達していない状況ではあったものの、収支の均衡はとれましたが、今後も実現できるか不透明な状況です。これまで、1号園児数を確保するために従来の在園児に加えて卒園児の弟妹枠を設けたり、満3歳児を12名から18名に増やしたり、その他にも保護者サービスの向上に努めてきました。さらに、一昨年度、1号保護者に「園児募集に関するアンケート」をとり、保護者のニーズの把握とそれに基づく対応策を協議しました。昨年度から始めたその対応策の実現を進めていきます。将来的には、収支均衡を実現するための定員の見直し等の対応が必要になるかと思われるため、その準備を進めていきます。

また、保育者の確保も大きな課題です。全国的な保育者不足であり、本園でも処遇の見直し等図って確保に努める必要があります。また業務改善を図ることも急務です。学級事務の簡素化やDX推進を図る必要があります。DX推進では、ICT支援システム「コドモン」を導入し、保護者の利便性を高めてきています。今年度は「コドモン」でのドキュメンテーション機能等の活用を進めるとともに、職員の業務改善への活用を模索していきます。



尚絅大学・尚絅大学短期大学部

令和7年度 尚絅公開講座

38億年の命

ー激動の時代を生きるー

開催日 10/18(土)・25(土)・11/1(土)

対象者 男女・年齢に関係なく受講できます

受講料 2,000円(高校生以下は無料)

開催場所 尚絅大学・尚絅大学短期大学部
九品寺キャンパス大学1号館10階ホール

申込方法は
ホームページにてお知らせいたします。



【お問合せ】
尚絅大学・尚絅大学短期大学部 庶務会計課
E-mail: shomuk@shokei-gakuen.ac.jp



尚絅中学・尚絅高等学校

中高体育祭

開催日

9/26(金)

開催場所

熊本県民総合運動公園
パークドーム熊本



入試説明会

開催日

11/8(土)・16(日)

時間

9:30～

会場

尚絅中学校・
高等学校



尚絅大学附属こども園

令和7年度 こども園運動会

開催日

10/11(土)

開催場所

尚絅大学武蔵ヶ丘キャンパス
グラウンド

